



皆さんのお口の中に色々なかぶせ物が入っていると思いますが、どのような素材を使っているかご存知ですか？最近、ブラッシング指導をしていかぶせ物の種類によって、汚れ（プラーク）の付きやすさに大きな差があるなあと感じています。汚れ（プラーク）は、むし歯や歯周病の予防にも大きく影響します。そこで、今月号は、かぶせ物の種類と特徴、汚れの付きやすさの違いを特集します。

### かぶせ物の種類

名称	素材	利点	欠点
 レジン前装冠	プラスチック 銀合金	保険適応の為安価	2～5年で変色する よごれが着きやすく、歯周病になりやすい 臭いや着色が付きやすく、口臭の原因になる 適合が悪いため、外れやすく、むし歯になりやすい
 メタルクラウン	銀合金	保険適応の為安価	2～5年で変色、腐食する よごれが着きやすく、歯周病になりやすい 適合が悪いため、外れやすく、むし歯になりやすい
 ジルコニアクラウン	人工ダイヤに使用される丈夫で白いジルコニアに、周りの歯と自然に馴染みやすいようにセラミックで色をつけたもの	自分の歯と同じ様に色調を合わせられる 金属以上の強度があり、耐久性に優れ長持ちする 汚れがつきにくい 金属不使用のためアレルギーなし	自費診療の為、保険治療よりも高価
 メタルボンドクラウン	金属フレームにセラミックをやきつけたもの	自然な歯の色が再現できる 汚れが付きにくい ジルコニアクラウンより安価	自費診療 衝撃に弱く、セラミック部分が欠けることがある 金属フレームを使用する為、金属アレルギーになる可能性がある ジルコニアクラウンに比べ適合に劣る 中の金属がすけて黒っぽくなるので前歯には不向き

### 素材の種類による汚れの付きやすさの違い

レジン  
歯頸部や隣接面にプラークがべったりと沈着している



天然歯

セラミック  
同じ環境下でもプラークの沈着は少ない

保険適応の銀歯  
ブラッシングが不十分だと、プラークがべったりと付いてしまう

お口の中の環境は人それぞれ違いますが、上記の図のように色々なかぶせ物が入っていると、汚れの付きやすさの違いが出てきます。また、同じように歯磨きをしても、素材によって、汚れの落としやすさも違ってきます。皆さんのお口の中はいかがでしょう？治療をするときに、かぶせ物の素材や耐久性、見た目、お手入れのしやすさ等を考慮してみてください。かぶせ物やお手入れの方法等お悩みの方は、担当医・担当衛生士に、お気軽にご相談ください。